



あかり木通信

2026年6月号

あかり木診療所

趣味をもつこと パート3 「俳句」の紹介

昨年と一昨年のこの欄の話題は、それまで無趣味だった診療所長が俳句をはじめるといったことになりました。診療所に毎月送られてくる「神奈川県医師会報」という雑誌に、数ヶ月に一回俳句を投句するコーナーがあることをみつけ、さっそく投句しています。そのなかで、選句を受けて選者の選評とともに掲載された句について紹介（転載）します。これまでの経験上どうしても病院が舞台の句が多くなってしまいます。

- ・ 凧や術後はじめて湯に浸かる

《選評》手術後、やっと入浴できるようになりまし。外を吹く凧の音のように、辛さや不安はまだありますが、温かい風呂は心身を癒やしてくれます。

- ・ 午前二時救急車来る音の冴ゆ

《選評》救急車の音が夜の冴え冴えとした寒さの中から聞こえてくると、心にも寒々とした思いが過ります。「冴ゆ」という季語が心理にも響いています。

・ 長き夜今日で点滴九日目

《選評》秋の夜長は健やかであれば、読書等の趣味に耽ったり、虫の音や月を愛でたりと静かな楽しみがあるものです。ただ、点滴九日目ということであれば、じっと黙して自分自身の内面に向かう時を過ごされているのです。

・ 小春日や術後五年で転移なし

《選評》手術は成功しても心配は続きます。ようやく五年がたつて転移もなく、安心が訪れました。「小春日」という季語がしみじみと心を表しています。

・ 中庭にコスモスの咲く診療所

《選評》燦々と日の注ぐ中庭にコスモスが咲いています。建物内や玄関口に比べ、中庭は落ち着いており、病人が心を休めるに良い場所でしょう。コスモスを植えた人の心遣いがしのべれます。

肺炎を予防するための新しいワクチン

あかり木診療所では、従来より高齢者の肺炎を予防するために23価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチン「ニューモバックス」の接種を実施してまいりました。最近になり、その他にも新しいワクチンが登場しています。

◆ 21価肺炎球菌結合型ワクチン「キャップバックス」

肺炎球菌には90種類以上の「血清型」がありますが、そのなかでも比較的近年に検出頻度の高い型、および重症化しやすい侵襲性肺炎球菌感染症の原因となる型をひろくカバーしている新しい肺炎球菌ワクチンです。また免疫が長期にわたって持続することが期待できます。65歳以上の、これまで肺炎球菌ワクチンの接種を一度も受けてない方、ニューモバックスを接種後5年以上経過して再接種を検討している方などにお勧めしています。

◆ RSウイルスワクチン「アレックスビー」

肺炎を起こす原因のひとつである「RSウイルス」の感染を予防します。60歳以上であれば接種できますが、特にご高齢の方や心臓や呼吸の機能が低下した方などにお勧めしています。

そのほか、インフルエンザワクチン、コロナウイルスワクチンも肺炎の予防に役立ちます。とくにインフルエンザワクチンは、今年から75歳以上の方には「高用量ワクチン」の選択もできるような見込みです。

「保険証」は使用できなくなりました

マイナンバーカードの保険証利用（マイナ保険証）がはじまり、昨年の12月からは今までの「保険証」は使用できないことになりました。受診のたびにご自身でマイナンバーカードを受付にあるカードリーダーに通し、顔認証またはパスワードの操作をする必要があります。マイナンバーカードをつくってない方や一部の高齢者には「資格確認書」が発行されていますので、それを受付に出していただくことでも保険の確認ができます。スマートフォンのマイナ保険証利用は、あかり木診療所では現在のところは対応できていません。またマイナ保険証から小児や障害者などの医療証情報を読み取ることにも対応できていませんので、医療証をお持ちの方は別にお出してください。また、あかり木診療所の診察券もお出してください。